

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	伊勢市における東海地震、東南海・南海地震等大規模災害に備えた防災まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）												
交付対象	伊勢市												
計画の目標	本市は大規模地震防災対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域（平成14年4月指定）、及び東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく東南海・南海地震防災対策推進地域（平成15年12月指定）に指定されていることから、以下の項目について計画の目標と定める。 1. 避難活動を行う市民の災害関連死を防止するため安全衛生を確保する。 2. 統廃合のため新設され避難所となる小中学校及び避難所に指定されている小中学校に接続する道路の歩行空間を確保する。 3. 避難所指定されている小中学校において避難訓練を実施し防災意識の向上を図る。 4. 学校、警察、道路管理者が行う通学路合同点検の結果に基づいた安全対策を実施することで通学路の安全を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	377	A	357	B	0	C	20	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	5.3	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	発災後早期にかつ快適にトイレが利用できる避難生活施設を0%から100%に増加させる。 マンホールトイレが整備されている避難生活施設の割合	0%	%	100%
2	避難所指定予定及び指定済みの小中学校に事業対象道路を経由して通学する子どものうち安全な道路を通行できる子どもの割合を0%から79%に増加させる。 避難所指定予定及び指定済みの小中学校に事業対象道路を経由して通学する子どものうち安全な道路を通行できる子どもの割合	0%	%	79%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---



C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	伊勢市	直接	伊勢市	—	—	災害用トイレ上部施設等 整備事業	災害用トイレ上部施設等の整 備 8箇所	伊勢市		■	■	■		20	—		
		基幹事業で設置する災害用トイレ（マンホールトイレ）と一体的に実施することにより、利便性の向上を図る。																		
											小計						20			
											合計						20			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体にて、目標に対する達成状況の確認及び事業効果を検証し、事後評価を行った。	令和5年6月
	公表の方法
	伊勢市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模災害時に使用するマンホールトイレ等については、計画していた全ての避難生活施設に整備が完了し、有事の際でも安心して使用できるトイレ対策を実施した。 避難所に指定している小中学校へのアクセス道路については、計画していた3路線のうち2路線が完成、残りの1路線は、現在用地の取得に向け、関係者と協議を行っている。用地取得後、事業を再開し早期の完成を目指す。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	災害用マンホールトイレについては、防災訓練などを通じて設営を体験できるような啓発活動を実施することで、地域住民の防災意識の向上につながっている。

○特記事項（今後の方針等）

<p><b>【災害用のマンホールトイレ】</b> 災害用トイレは整備して完了ではなく、多くの方にその存在を知っていただくことが重要である。 今後は、発災後円滑にトイレの設営が実施できるよう、設営体験など地域の防災訓練等を通じて継続的に啓発活動を行う。</p> <p><b>【避難所に指定している小中学校へのアクセス道路整備】</b> 事業用地の取得に努め、早期の事業完成を目指す。</p>
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	マンホールトイレが整備されている避難生活施設の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	事業対象道路を経由して通学する子どものうち安全な道路通行できる子どもの割合	
	最終目標値	79%
	最終実績値	79%

参考図面

計画の名称	伊勢市における東海地震、東南海・南海地震等大規模災害に備えた防災まちづくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	伊勢市

